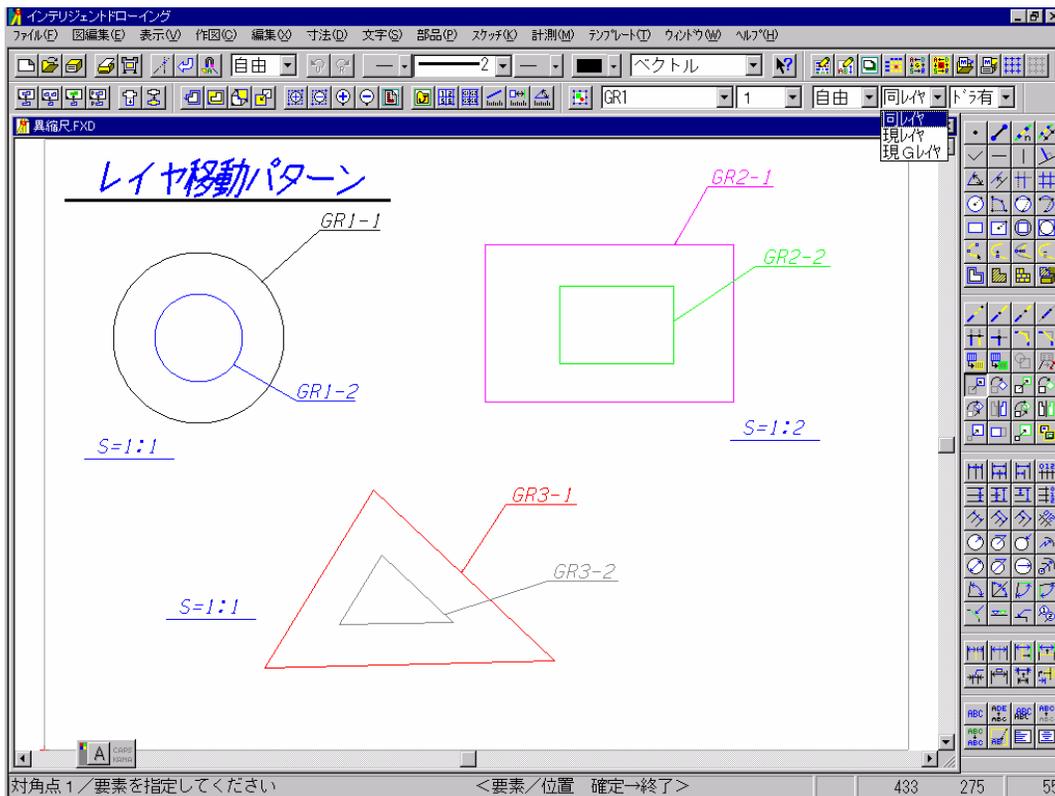


## レイヤー移動のパターン



編集-移動を使ってレイヤ移動をするには、レイヤーモード(モード2)を設定する事で、簡単にレイヤー移動が出来る。

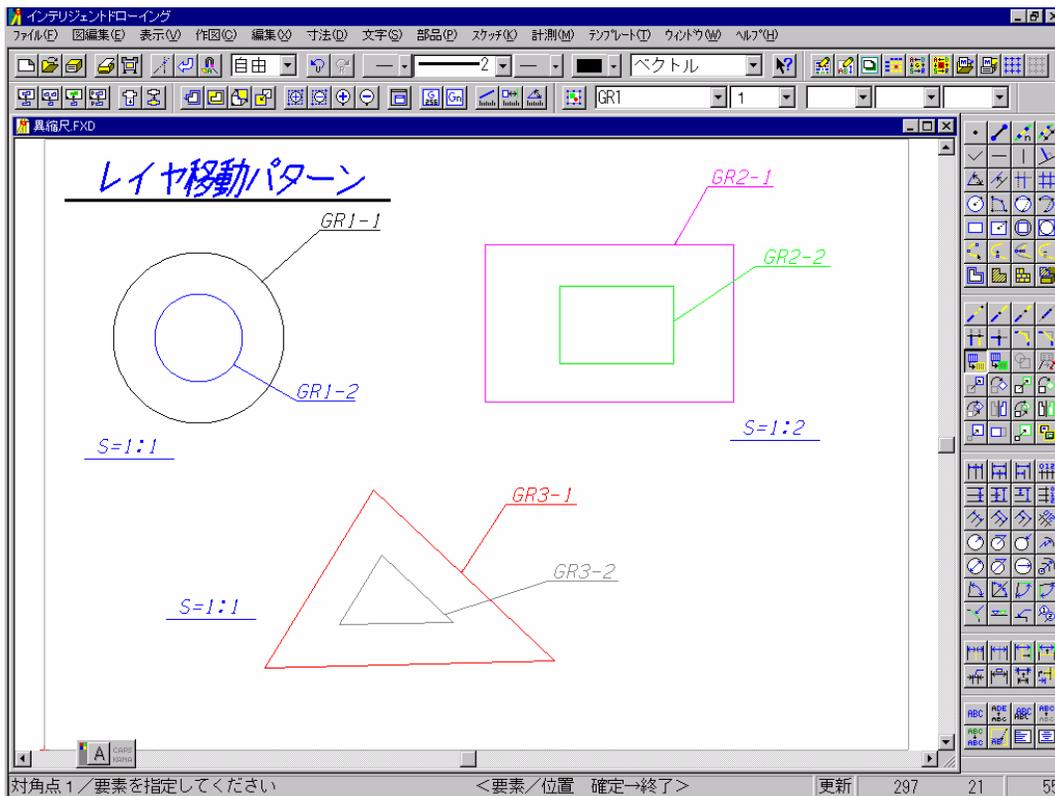
同レイヤ……………認識した要素を、同一レイヤへ移動(複写)します。

現レイヤ……………認識した要素を、アクティブグループのアクティブレイヤへ移動(複写)します。

現Gレイヤ……………認識した要素を、アクティブグループのそれぞれ同一のレイヤへ移動(複写)します。

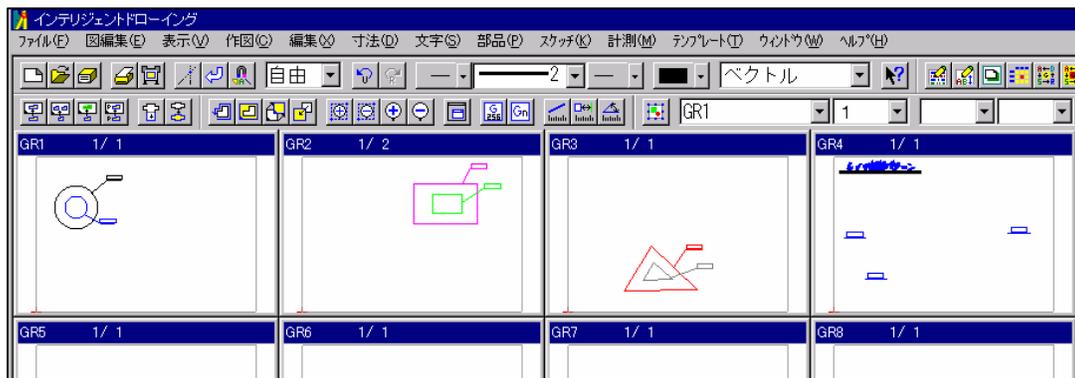
但し、同じ縮尺レイヤグループのレイヤーでしか移動・複写は出来ない。

## レイヤー移動のパターン

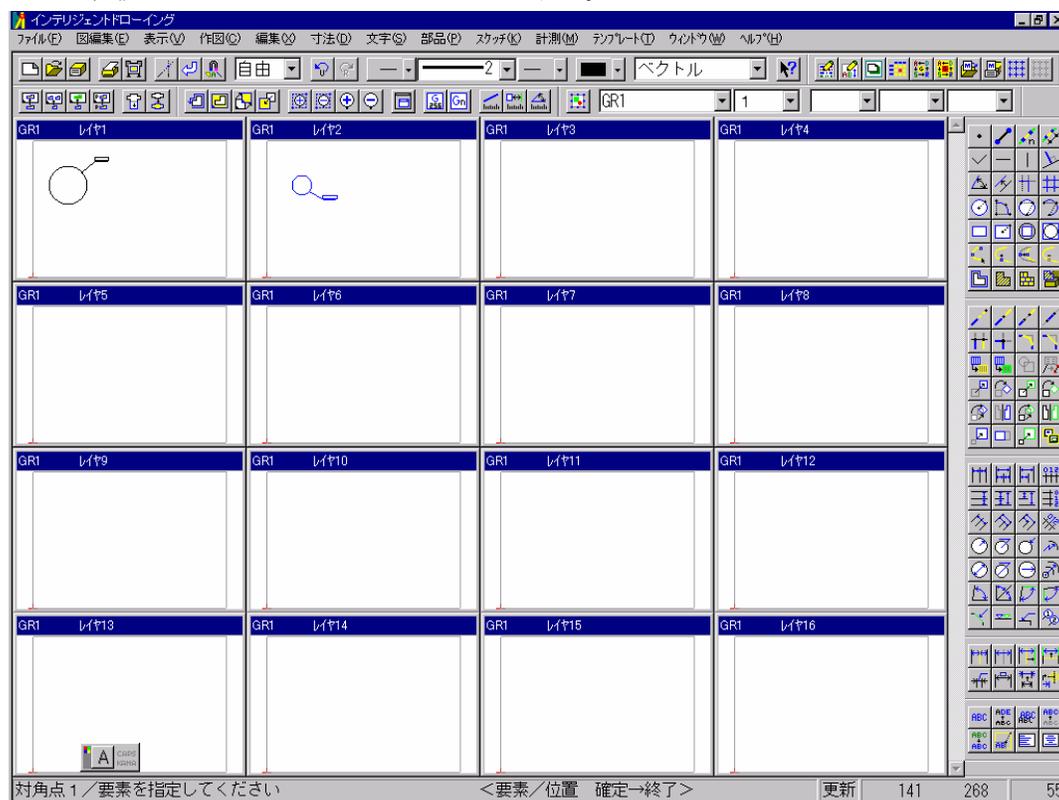


- ・パターン1. レイヤーグループ内移動（縮尺は同じ）  
指定グループの16レイヤー間でグルーピングにより移動処理を行います。  
但、複数のグループがある場合は指定し、そのグループ内で移動させる。
- ・パターン2. レイヤーグループ間移動（縮尺は同じ）  
同一縮尺のグループ間でグルーピングにより移動処理を行います。  
但、レイヤー番号は移動元レイヤーグループと同じレイヤー番号に移動される。
- ・パターン3. 異縮尺レイヤー間移動（縮尺が違う）  
異縮尺のグループ間でグルーピングにより移動処理を行います。  
但、同じ縮尺のレイヤー移動だとエラーが表示され移動できない。
- ・パターン4. 移動先レイヤー要素を指定しレイヤーを変更する。  
ある要素が属している任意のレイヤーに、選択した要素を移動します。

## パターン1. レイヤーグループ内

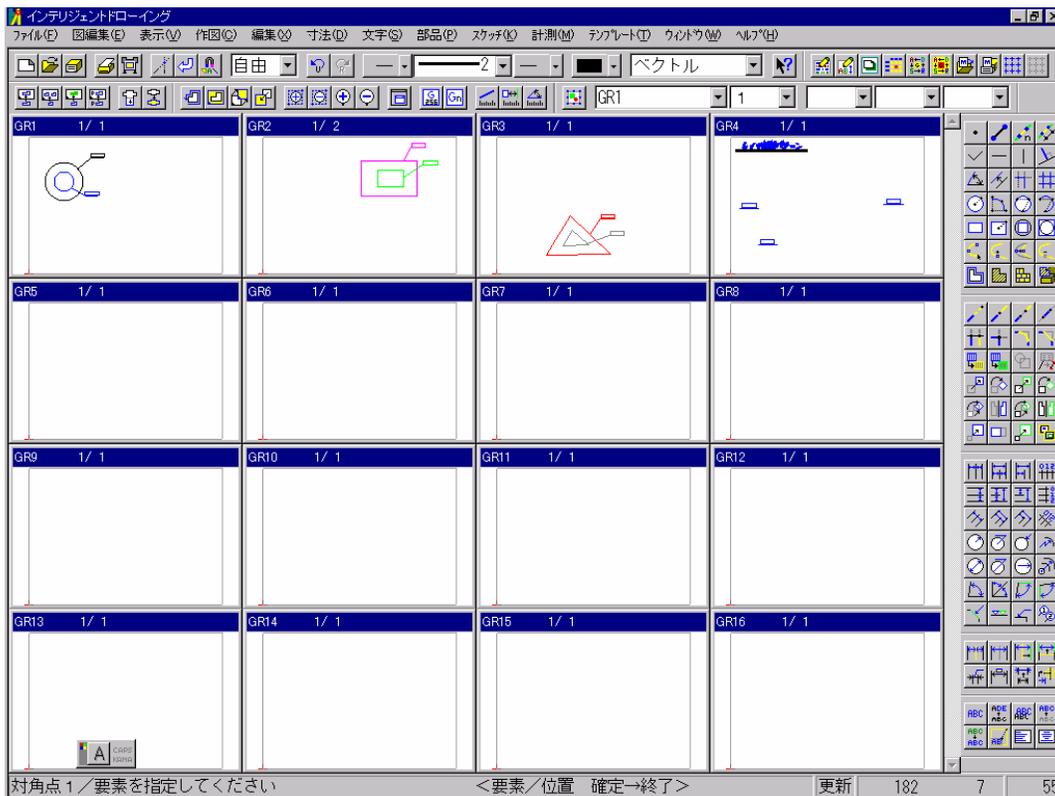


ここで、移動したいレイヤーグループを選択する。



移動したい要素を指定し、(青い部分をダブルクリックして拡大してみると操作しやすい) 確定した後、移動させたいレイヤを指定する。自動的に図面左下を原点にとり、移動される。

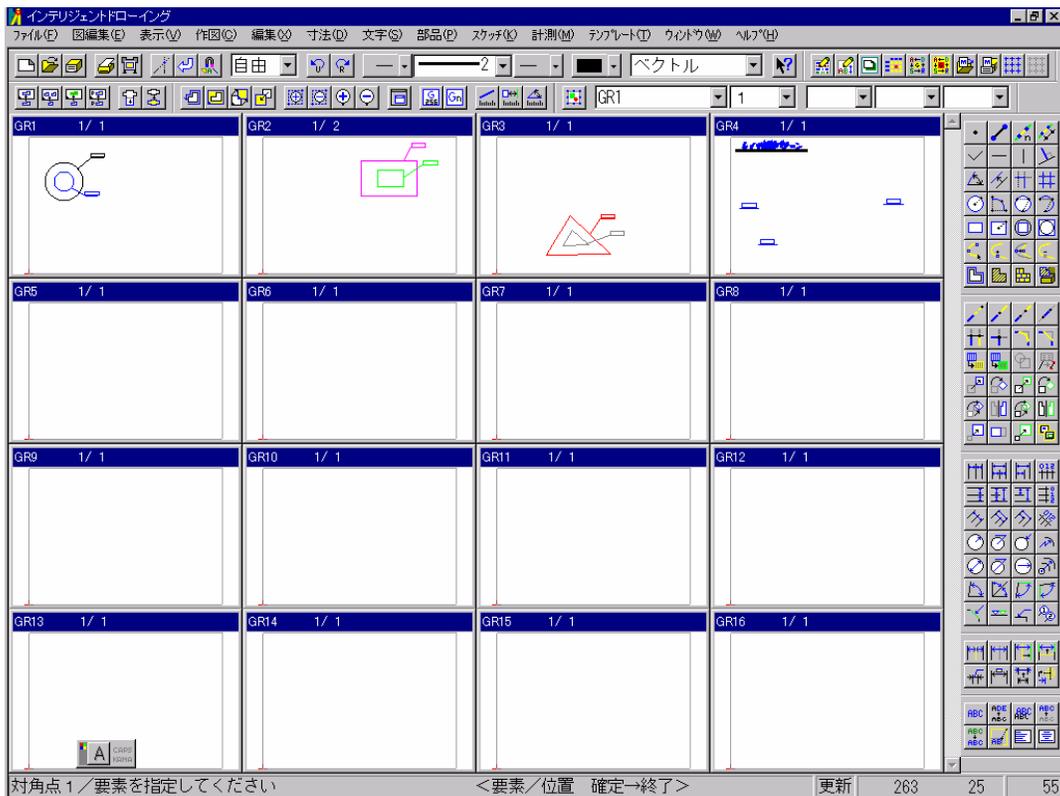
## パターン2. レイヤーグループ間



ここでレイヤーグループ内移動と同様に（拡大して）、要素を指定して確定した後、移動したいレイヤーグループを指定する。自動的に図面左下を原点にとり、移動される。

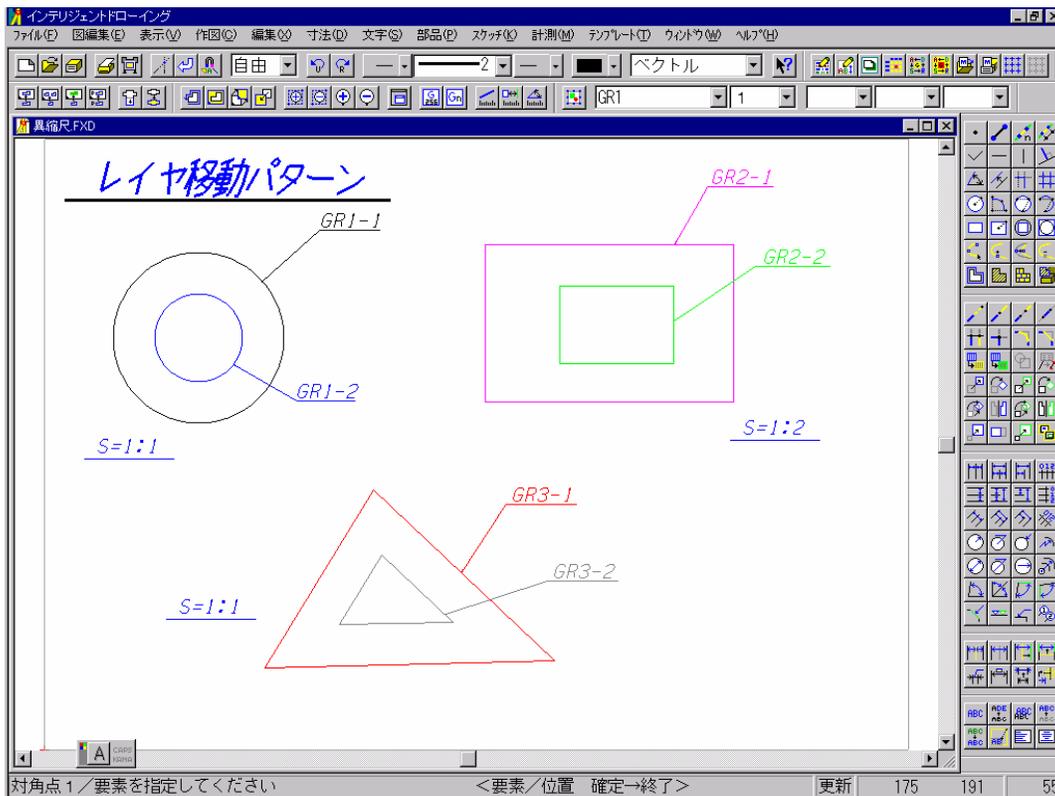
但し、レイヤーグループ間移動は移動元のレイヤー番号と同じレイヤー番号に移動される。例えば GR 1 - 2 の円を GR 3 に移動させた時、移動した円は、GR 3 - 2 に移動される。

### パターン3. 異縮尺レイヤー間



ここでレイヤーグループ間移動と同様に（拡大して）、要素を指定して確定した後、移動したい異縮尺レイヤーグループを指定する。自動的に図面左下を原点にとり、移動される。但し、レイヤーグループ間移動は移動元のレイヤー番号と同じレイヤー番号に移動される。注意する事は異縮尺なので、配置場所が縮尺によって変わる。

#### パターン4. 指定要素レイヤー間



この画面から、アクティブグループレイヤーの要素のみ指定できる。要素を指定して、確定した後、移動したいレイヤーグループの要素を指定すると、瞬間的にそのレイヤー番号に移動する。

注意する事は異縮尺なので、配置場所が縮尺によって変わる。